

いちちょうだより



学校では、三月は卒業を迎え、修了まとめの時期と新年度の準備の時期に入ります。今年度を振り返って、ごあいさつ申しあげます。

自分らしく輝く

福田 校長

穏やかな日差しの中、春の訪れを実感できる季節になってきました。令和五年度も残り僅かとなり、卒業や進級の時期を迎えることになりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症による制限がなくなり、校外に出て、地域で多くのことを学ぶことができました。また数年ぶりに運動会やスポーツフェスティバル、プールでの水泳学習なども実施することができ、仲間と協力しながら様々なことに挑戦することで、やってよかったと思えることをたくさん経験できたのではないのでしょうか。これらの一つ一つがとても大切であり、将来、やりたいことに挑戦できる自分につながっていきます。これから新たな経験を積み重ねていくこととなりますが、何事にも自信を持ち、前向きに取り組んでいきましょう。

う。

さて、卒業、進級する皆さんは、次のステージへと新たな一歩を踏み出しますが、努力してできるようになったことや得意なことをいかし、自分らしく歩んでいってください。そして自分だけでなく周りの人も幸せにできるくらい輝いてほしいと思っております。皆さんならきつとできるはずです。今後の活躍を応援しています。

そして、保土ヶ谷支援学校では共生社会の実現を目指しています。多くの人と支え合い、助け合いながら、一人一人がやりがいをもって生活できるようになることを願っています。引き続き学校関係者の皆様の御理解と御協力をお願いします。

素敵なプレゼント

川島 副校長



今年度は三学期に入り、素敵なプレゼントが二つ届きました。一つ目は、大谷翔平選手(ロサンゼルス・ドジャース)からのグローブです。今回のいちちょうだよりの最後にも掲載されていますが、細かい配慮で

神奈川県立保土ヶ谷支援学校
学校 便り 第三十七号
◆令和六年三月七日 発行

三つもグローブが贈られ、始業式で児童生徒の皆さんに紹介しました。小学部では、式の中で早速校長先生とキャッチボールをしました。高等部では、グローブを紹介すると「おおお〜」とどよめき、自然と拍手が：注目度の高さを感じました。その後は、クラスで写真を撮ったり、昼休みにキャッチボールをしたり、思い思いに楽しんでいきます。



二つ目は、書家・金澤翔子さんの書の寄贈です。金澤翔子さんは「ともに生きる社会かながわ憲章」の題字『ともに生きる』を書いてくださった方です。県内の特別支援学校全校に寄贈され、本校には「心」が贈られました。力強い一文字で、見る者を圧倒させるエネルギーを感じます。事務室窓口の真上に飾ってありますので、来校された際はぜひご覧になってください。



さて、三月は一年のまとめ、そして新たな旅立ちの時でもあります。今年度は九十二名の児童生徒が卒業します。新しい環境でも自分らしく、心豊かに、笑顔で過ごしてほしいと願っています。さあ、新たな一歩を踏み出しましょう！

一人ひとりの社会参加

小倉 教頭



今年度も教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。地域の学校との交流が復活し、校内だけではできない経験が児童・生徒の成長を後押ししてくれました。

令和五年度の学校運営協議会では「就労支援」を重点課題に議論を重ねてくるとともに活動を展開してきました。日々の学習の積み重ねと校内だけでは解決に至らない問題を評議員の皆さんと協議しました。活動の一環として高等部生徒を対象にした就労講話と保護者を対象とした就労講話をしていただきました。高等部生徒がうなずきながら話を聞く姿がとても印象的でした。保護者は質疑応答で活発な意見交換ができました。また、センター的機能の一環としては「企業と語ろう in ほどがや」の開催と近隣の支援級の保護者を対象に企業見学を行いました。その中で見えた課題が次の二点です。

- ・ 早期から福祉や就労に関する情報提供・情報発信
- ・ 本人支援のために支援者の支援力向上

これを踏まえて本人、保護者、教職員等が卒業後の生活に見通しが持てるように、本校にカスタマイズした情報発信の機会の必要性を感じました。「なりたい自分」を力強く後押しできる支援力を学校全体、地域社会全体で考える機会を創出しています。さらなるご協力と協働をお願いします。

屋内避難訓練実施

菊地 教頭

神奈川県西の方から通勤しています。朝、境木中学校前のバス停から学校へ向かう途中、左手に富士山、右手にみなとみらいのビル群が見えます。保土ヶ谷は、自然と都会が同居している不思議な場所ですね。夜になると、みなとみらいは宝石を散りばめたようにキラキラ光を発しています

さて、一月十二日に本校で避難訓練を行いました。今年度は専門家をお招きし、訓練のあり方についてアドバイスをいただきながら実施しています。その中で、先生より次のようなお話がありました。

①保土ヶ谷支援（本校）の地盤はよく、建物は古いけれど、耐震工事済みなので、地震の際も、まず問題ないだろう。

②東日本大震災や能登半島地震で、校舎そのものが倒壊した事例はない。周囲が液状化しても、校舎は基礎工事をしているので、建物には大きな被害がなく済んでいる。

以上の情報をもとに、一月の訓練では、屋外（グラウンド等）に避難するのではなく、屋内に避難する訓練を行いました。校舎の中で安全に避難するにはどこにどう集まるのがよいのか。学校の立地、環境条件や子どもたちの実態に合った避難の方法について、さらに検討を重ね、次の訓練に活かしていきます。



寄付がありました！



アメリカのプロ野球選手であるロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手からグローブが届きました。右利き用2つ、左利き用1つ、計3つのグローブには一つひとつ、大谷選手のサインも書かれていました。「野球しようぜ！」の言葉の通り、このグローブで私たちができる野球をしていきたいと思います。大谷選手！ありがとう！！



《ホームページもご覧ください！》

学校ホームページでは、「いちようだより」でお伝えしきれない情報も多数掲載しております。

